

### 自動水道水質測定装置「GX-100」が「2025年度グッドデザイン賞」を受賞

The Automatic Tap Water Quality Measurement Device “GX-100” Wins the 2025 Good Design Award

#### 2025年度グッドデザイン賞

##### 表彰の概要

「グッドデザイン賞」は、公益財団法人日本デザイン振興会が主催し、1957年に創設されたグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨のしくみである。60年以上にわたり、デザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる活動として展開されている。この度、HORIBAグループで水計測事業を担う株式会社堀場アドバンスドテクノの自動水道水質測定装置「GX-100」(Figure 1)が、2025年度グッドデザイン賞を受賞した。受賞祝賀会には、この製品開発およびデザインに携わった、株式会社堀場アドバンスドテクノの入江 和大、小林 一星、株式会社堀場製作所の千葉 陽が出席した(Figure 2)<sup>※1</sup>。

##### 受賞内容

本受賞は、従来長時間の現地作業を要していた水質計のメンテナンスを、モジュール交換と独自のセル洗浄機構により大幅に合理化した革新性が高く評価されたものである。整理されたGUIと無駄のない筐体フォルムは、機能的でありながら洗練された佇まいを備え、現場での確実な操作を支える。これにより水質の安定監視を容易にし、安全な水供給という社会基盤を持続的に支えるデザインであるという点が受賞理由となった。

##### 自動水道水質測定装置GX-100について

GX-100は、浄水場や配水場、配水池、ポンプ場といった施設から、家庭に水道水を運ぶ給水管の末端までの幅広い領域で、安心・安全な水質管理を実現する製品である。pHをはじめ、濁度、色度、残留塩素など、上水関連の規制で必要とされる主要7項目を測定することができる。また本製品は、工具や治具を使用することなく、測定項目ごとのモジュール<sup>※2</sup>を容易に脱着できる機構を採用しており、モジュール単体での校正が実現できることにより、現場での校正作業時間を約50%短縮<sup>※3</sup>した。さらに、メンテナンスが必要なモジュールのみを現場から持ち帰って作業できるほか、スマートフォンやタブレットによる操作にも対応する。業務効率の向上や人手不足の解消など、働き方改革の推進に貢献する製品である。

※2 製品を機能単位で設計して組み合わせる手法。交換やカスタマイズが容易で、製品の柔軟性や保守性を高めます。

※3 当社従来製品との比較。使用方法や条件によって効果が異なる場合があります。

\* 編集局注：本内容は特段の記載がない限り、受賞時点での自社調査に基づいて記載しています。



Figure 1 受賞した自動水道水質測定装置「GX-100」



Figure 2 左から千葉 陽、入江 和大、小林 一星

※1 公益財団法人日本デザイン振興会  
受賞対象の詳細「GOOD DESIGN AWARD  
受賞ギャラリー」  
<https://www.g-mark.org/gallery/winners/31280>(2026/3/5参照)

\* 本製品の詳細は、Readout第59号(pp.57-61)に掲載されています。  
[https://static.horiba.com/fileadmin/Horiba/Company/About\\_HORIBA/Readout/JA/R59J/R59J\\_14\\_057\\_0403.pdf](https://static.horiba.com/fileadmin/Horiba/Company/About_HORIBA/Readout/JA/R59J/R59J_14_057_0403.pdf)